

【第4回】11月12日（日）13:00～15:45

自分らしい人生の最期を迎えるために今できること - 人生会議を考えてみよう -

人はいつ命に関わる大きな病気をするかわかりません。終末期には約70%の人が、医療やケアなどを自分で決めたり希望を伝えることができなくなると言われています。病気になる前から「もしものこと」が自分に起きたとき、「どんな医療を受けたいか」「どんなことを大切にしたいか」について考え、家族や身近な人と話し合い、医療者とも共有していくことを「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」と言います。国はACPを「人生会議」とネーミングをしました。人生の終わるときまで自分らしく生きるために、人生会議について考えてみませんか。

前半：自分らしい人生の最期を迎えるために、もしもの時に備えて人生会議について知っておきましょう。

後半：「もしバナゲーム（日本語出版：IACP）」を使って、あなたにとって大切なもの、自分自身のあり方を考えてみましょう。

※ 2022年度後期の「自分らしい人生の最期を迎えるために今できること-人生会議を考えてみよう-」講座と内容が重複する部分がございます。

◆会場：新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 ◆定員：16名（先着順）

◆講座申込締切：10月27日（金） ◆対象：どなたでも

◆保育サービス定員：5名【申込締切10月20日（金）】

◆受講料：無料

（助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団）



【講師】長谷川 直子（元 訪問看護ステーション所長）

新潟県生まれ。長年、病院併設の訪問看護ステーションに勤務し、地域の関係機関と協働し、在宅等で多くの方々を支援する。現在、介護予防事業に携わりながら、新潟青陵大学において在宅看護学実習を担当している。

【講師】佐々木 祐子（新潟青陵大学大学院 看護学研究科 エンド・オブ・ライフ・ケア領域 教授）

新潟県生まれ。北里大学看護学部を卒業後、臨床で多くの人の看取りを経験してきた。東洋英和女学院大学大学院で死生学を学び、現在は日本人の看取りや身内と死別した家族の悲嘆を支援するグリーフケアをテーマに研究を行っている。2018年より現職。人の生と死、成人看護学などの授業を担当し、ケアリングを用いた看護教育に取り組んでいる。

申込方法等は、本学のホームページ
（右記QRコード）をご確認ください

